

今月のテーマ

☆大和化成株の今後の事業展開～野望編～☆

大和化成株の今後の展開

D&K Daiwa Kasei Co., Ltd

サカイからセカイへ

～ものづくりで日本を元気にする～

○世界から地球そして宇宙へ○

リチウムイオン電池ガasket NO.1メーカーとしての地位を維持する。
他業界での用途開拓をし、プラスチックの可能性を拓く。【これまでの大和化成】
ガasket製品に特化第三次世界制覇ステージで応用技術を深化
～ガasketだけでなく構成部品まで～
サイズ 最大200mm×200mm程度

皆さんこんにちは。3月に入り、寒さもだいぶ和らぎつつありますね。大和化成株式会社 開発部グループリーダーの榎田 直貴です。ニュースレターも早くも創刊から第3号を迎えます。いつもご拝読いただきありがとうございます。今回のテーマは題して『大和化成株の今後の事業展開～野望編～』です。弊社はご存じの通り、電池ガasket特化型の事業をこの30数年進めてまいりました。古くはSONY製の『ウォークマン』に使われるガム型Ni-cd2次電池のパッキンで

展示会出展のお知らせ

○第19回機械要素技術展(2015)出展内定!!!!
大阪府様との大規模展示商談会活用事業(共同出展)
に弊社が選定されました。その他10社の企業様と共に
東京ビックサイトでお待ちしております!!!!

【展示会概要】

機械要素技術展は、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた日本最大の専門技術展です。毎年、設計・開発、製造・生産技術部門を中心とした製造業ユーザーが多数来場し、出展企業と商談を行っています。

日時 : 2015年6月27日(水)～6月26日(金)

場所 : 東京ビックサイト(東京江東区有明3-11-1)

※今後も展示会や見本市等への出展を計画しております。
是非お誘いあわせの上ご来場いただけましたら幸いです。

新素材のご紹介(長繊維樹脂)

プラスチック業界のトレンドとして、金属代替グレードの開発が進んでいるということは、創刊号でちらっとお伝えしましたが、貴社が扱っているその製品プラスチックに変えることで、もっと軽く、もっと薄くできるかもしれません。今回ご紹介するのは、特殊製法により従来の強化樹脂にはなかった「強化繊維同士の絡み合い」により、様々な特性が得られる「非常に長い強化繊維」を含有させた機能性プラスチック。これまでの短繊維強化よりもさらに、高い機能を兼ね揃えています。皆様もエンブレや汎用プラスチック(PP、PA6、PA66、PPS等)にGFやCFまたSUSなどのフィラーを含有させた金属代替えとなる機能を備えた樹脂で、部材の軽量化、コストダウンを検討してみませんか。【特徴】・高剛性・高衝撃性がある。・長期寿命クリープ特性・ソリ等の変形が少ない。等 詳細はTELもしくはご訪問させて頂いた際にご紹介します。

世界で5割のシェアを獲得させていただいたり、【第一次世界制覇】携帯電話用Ni-MH電池、そしてLi-ion電池のガasketを生産し、【第二次世界制覇】電池の変遷、業界の変遷と共に我々も柔軟に変化し、電池の普及に大きく貢献してきました。弊社の現在のメイン事業は車載向けLi-ion2次電池のガasketです。

実際に弊社のガasketが入った電池が、HEV車等に搭載され世界各地で活躍しております。【第三次世界制覇】

しかし、いつまでも電池業界のみに特化するつもりはなく、電池ガasket事業で得た、弊社のノウハウや技術を活かして幅広い業界に用途開拓や開発支援を行い、樹脂の可能性を拓く活動をしていきたいと考えております。最近では、『金属から樹脂化』というテーマを軸に、水回り、ポンプ関連業界やその他従来取引のない企業様に、積極的にアプローチし、業界のトレンドやニーズをリサーチして、弊社にできることでお客様に対して貢献できることを探っております。実際にいくつか技術的なテーマや引き合いなどをいただいた企業様もあり、そこからまた新たな価値を創造できるよう、営業の私としてもしっかりとフォローしていきたいと考えております。

もちろん！電池業界では『ガasketの老舗メーカー』としての地位を維持しつつ、弊社の技術でお客様にとってより良い価値をご提供させていただければと考えております。

プラスチックに関してのお困り事がありましたら、いつでもお気軽にお問い合わせくださいませ。

大和化成株からのご提案

【金属から樹脂(プラスチック)への置き換えを行うことで我々と一緒に製品コストを削減しませんか?】

Q:そもそも金属を樹脂に置き替えることってどんなメリットがあるの?

A:お客様の要望に応じて、求められる効果は様々ですが、

①コストダウン②軽量化③設計の自由度が上がる④金属にはない特性を持たせられる(耐薬品性等)が期待されております。

実際に自動車の外装部品や電動工具など数々の金属部品が樹脂製品に置き換わっている事例があり、弊社もガasket事業で培ったプラスチック成形の技術を活かし、そうした課題でお困りのお客様に製品開発・企画から試作・量産までワンストップでご提案をさせていただきたいと考えております。

やっつはみたいけどどう進めたらいいのかわからない!そんな方も是非お気軽に問い合わせいただけましたら幸いです。

今月の社員ひとこと



最後まで目を通していただきありがとうございます。

開発部グループリーダーの榎田 直貴(えのきだ なおき)です。早くも大和化成のニュースレターの第3号を迎えました。毎回コンテンツを考えながら記載していますが、皆さんにとってお役にたてる情報を提供できておりますでしょうか?弊社、または本紙に対するご感想・ご要望等ございましたら、いつでも気軽にご連絡いただけましたら幸いです。

それでは次月号もお楽しみに!!!!